令和6年度開始　新潟県立中央病院群 臨床研修プログラム

定員：10名
（イノベーター枠1名含）

連携施設

- 新潟大学医歯学総合病院（新規）
- 上越総合病院
- 新潟労災病院
- 糸魚川総合病院
- 新潟県立妙高病院
- 新潟県立柿崎病院
- 新潟県立十日町病院
- 新潟県立新発田病院
- 魚沼基幹病院
- 新潟県立がんセンター新潟病院
- さいがた医療センター
- 川室記念病院
- 高田西城病院
- 上越保健所

プログラム責任者：　木原好則　診療部長（放射線科）
副プログラム責任者：古川俊貴　内科部長（総合診療専門研修プログラム責任者）
木島朋子　内科医長（医学教育専門）

新潟県立中央病院

常勤医師数：117名

+当プログラム研修医：17名

＊他に襷掛け研修医数名

上越医療圏（人口25万人）の基幹病院

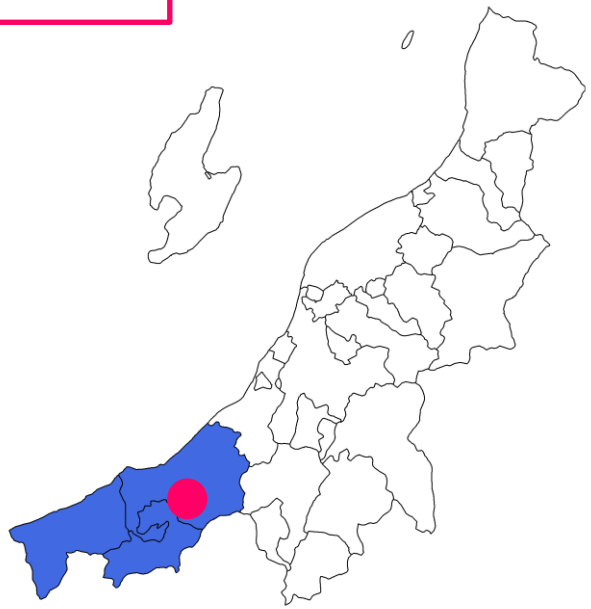
救急も　がん医療も

- 救命救急センター（三次救急）
- 地域がん診療連携拠点病院
- 周産期母子医療センター
- 定位放射線治療/IMRT
  PET/CT

医療圏内
唯一の機能

- 病床数　530床　県内4番目の規模
  （救命救急センター　20床、 感染病床　6床を含む）
- 救急車受入　5422件/年（令和4年度）
  （ドクターヘリ受入　20件）

県内3番目の件数

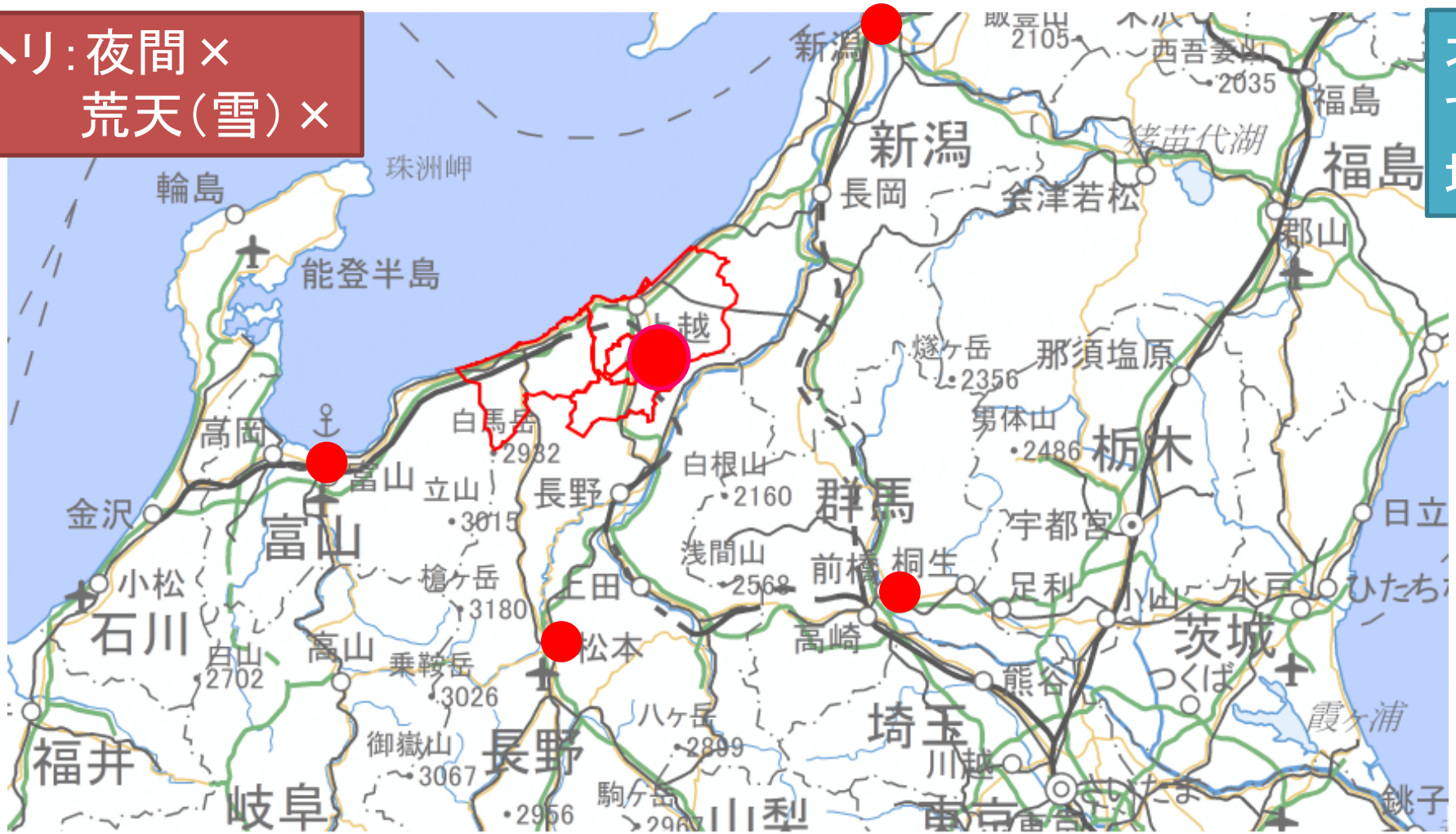


新潟県立中央病院

半径約100km以内に大学病院がない救命救急センター

ドクターヘリ：夜間×
荒天（雪）×

北海道以外では珍しい地理的特性



大学近郊からは通勤できない

医師は病院の周辺に住んでいる

最後の砦という覚悟

他科と相談しやすい雰囲気

臨床研修医の待遇

報酬月額（基本給） 1年次 350,000円　2年次 400,000円

年収（諸手当含む） 1年次 約5,160,000円　2年次 約7,560,000円

- 時間外手当：勤務時間外に診療行為等を行った実働時間に対し支給
- 当直（副直）手当：1回につき、1年次 10,500円　2年次 21,000円を支給
  （但し、実副宿直勤務時間が5時間未満の時は、50/100）
- 通勤手当：通勤距離が2.0km以上である場合に支給の対象
- 住居手当：貸付料の半額を支給（上限 27,000円）

有給休暇 1年次 年間10日　2年次 年間11日

宿舎 敷金/礼金/仲介料は病院負担、家賃(およそ半分)は個人負担

赴任旅費 引越費用実費額を支給（上限 76,000円程度）

研究旅費 126,000円/年

研修参加費の助成 14,500円/年

フレキシブルな研修プログラム

必修

内科[総合内科（院内標榜）含む]	24週	外科	4週
地域医療	4週	小児科	4週
産婦人科	4週	精神科	4週
救急	12週（8週+ 麻酔科 4週）		

＊外来：総合内科（院内標榜）、小児科、地域医療での併行研修
＊保健所実習　1週間

残りの11ヵ月は、自由選択（連携施設での研修も可能）

＊整形外科4週の研修を推奨

３年目以降の専門プログラムを選択するにあたって、1年目のうちに非必修科を研修しておきたいという要望にも対応します！

救急外来の診療体制

・1日おきに地域の救急当番
・3次救急病院なので非当番日でも救急車は沢山来ます

- 救急研修（平日日中）では、救急専門医がマンツーマンの指導
- 夜間、休日等の時間外は、内科系、外科系の上級医が指導
- 各科拘束医が、30分以内に到着---緊急手術、処置に対応
- 電子カルテで、救急患者のその後の経過を容易に把握できる
- 夜間/休日でも、CT画像を、放射線診断医がon demand で遠隔読影

緊迫感の中にも安心感のある研修体制を整備しています！

臨床研修医の日当直体制

当直　17:15～翌8:30　翌日午後に代休

副直　17:15～24:00　代休なし

休日日直　8:30～17:15　平日に代休

院内には3名の上級医がいます

- 内科系　日当直医
- 外科系　日当直医

救急外来担当

- 本院（センター）日当直医

Walk inの患者さんは研修医がFirst touch

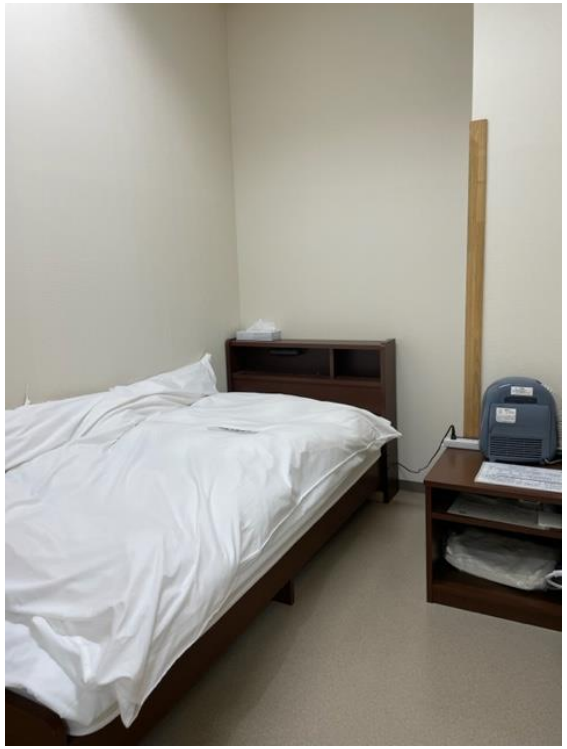
救急車の患者さんは上級医と共に診療

	4月末	10月～11月	3月下旬
1年次	副直or日直を週1回（先輩に教わる） 各研修医が救急科を4週研修	当直or日直を週1回 （先輩に教わる/同期と共に）	
2年次	当直を週1回+日直を月1回 （後輩に教える/同期と共に）	当直or日直を週1回 （後輩に教える/同期と共に）	

- 研修医の人数や病院全体の体制により変更あり
- 年度前半は異学年による屋根瓦方式が基本
- 日直当直は月計6回を上限とする

新潟県立中央病院の臨床研修環境

- 研修医・若手医師のための医局(第3医局)
- 実習、見学の医学生も同一の部屋で
- 仮眠室を　3室　独立に
- メディカルオンライン、Up To Date、医中誌Web　利用可
- 医局内Wi-Fi、電子カルテ、完備

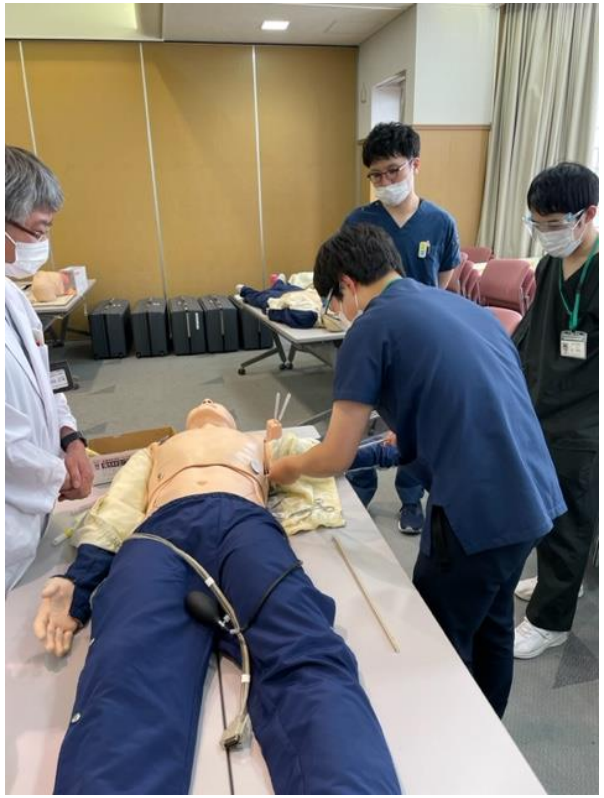


研修会・講演会・検討会・OJT・Off-JT

- 院内ICLSコース、外傷初期対応コース研修
- 医局集談会（各科持ち回りの講演会）　月１回
- 研修医セミナー(各科指導医が講演)　週１回
- 研修医業績発表会　年１回
- CVCハンズオンセミナー　年1回
- 緩和医療講習の義務化
- 研修医の学会、研究会での発表の推奨
- 輸血、リスク、感染防御の院内講演会

院内委員会主催の勉強会
院外講演会
大学教室のWeb勉強会等
公務外の勉強の機会も豊富

THE RESIDENT CIRCLE
不識庵（上越地域の勉強会）



令和3年度　研修医セミナー

回	日時	担当医師	診療科	テーマ
1	5/6	菊池　文平先生	脳神経外科	初療医の役割が嘗てないほど大きくなった令和時代の脳梗塞診療
2	5/20	吉岡　大志先生	内科（内分泌代謝）	高血糖緊急性について
3	5/27	木原　好則先生	放射線診断科	救急外来の画像診断
4	6/3	安城　淳哉先生	内科（膠原病）	輸液の話
5	6/17	松尾　裕次郎先生	整形外科	整形外科における救急外来やプライマリ・ケアで役立つ知識・技術
6	6/24	額賀　俊介先生	小児科	PALS (Pediatric Advanced Life Support)
7	7/1	石田　卓士先生	内科（呼吸器）	救急外来における呼吸器診療
8	7/15	西川　尚先生	循環器内科	心電図講義
9	7/29	原　寛先生	皮膚科	皮膚科救急疾患と初期対応について
10	8/5	片桐　明善先生	泌尿器科	泌尿器科の救急疾患
11	8/19	手塚　敏之先生	脳神経内科	意識障害について
12	8/26	秋山　史大先生	内科（腎臓）	CKDで注意が必要な薬剤
13	9/2	矢澤　智博先生 萩原　昴先生	形成外科	救急外来で出会う挫創・切創 皮膚や軟部組織の縫合実習
14	9/16	熊木　大輔先生	内科（消化器）	消化管出血と内視鏡的止血術
15	10/7	有波　良成先生	産婦人科	女性の急性腹症（産婦人科関連）
16	10/21	高橋　優人先生	耳鼻咽喉科	鼻出血の対応
17	10/28	福田　貴徳先生	放射線治療科	Oncologic emergency （緊急照射が必要な病態を中心に）
18	11/4	高田　雄太先生	眼科	眼科の救急対応
19	11/18	武田　幸彦先生	歯科口腔外科	口腔領域の疾患について
20	12/2	青野　高志先生	外科	診療ガイドラインからみた急性腹部救急疾患の診療
21	12/16	奥山　直樹先生	小児外科	新生児のstoma増設
22	12/23	名村　理先生	心臓血管外科	大動脈緊急症
23	1/6	持田　崇先生	麻酔科	呼吸管理、麻酔管理（特に気道確保の評価）について
24	1/20	齋藤　正幸先生	呼吸器外科	自然気胸と胸腔ドレナージ
25	2/3	須田　昌司先生	小児科	小児虐待と臓器移植
26	2/17	酒井　剛先生	病理診断科	検体の提出～報告書の解釈まで
27	2/24	永井　孝一先生	内科（血液）	DICとTTP

メンター制度

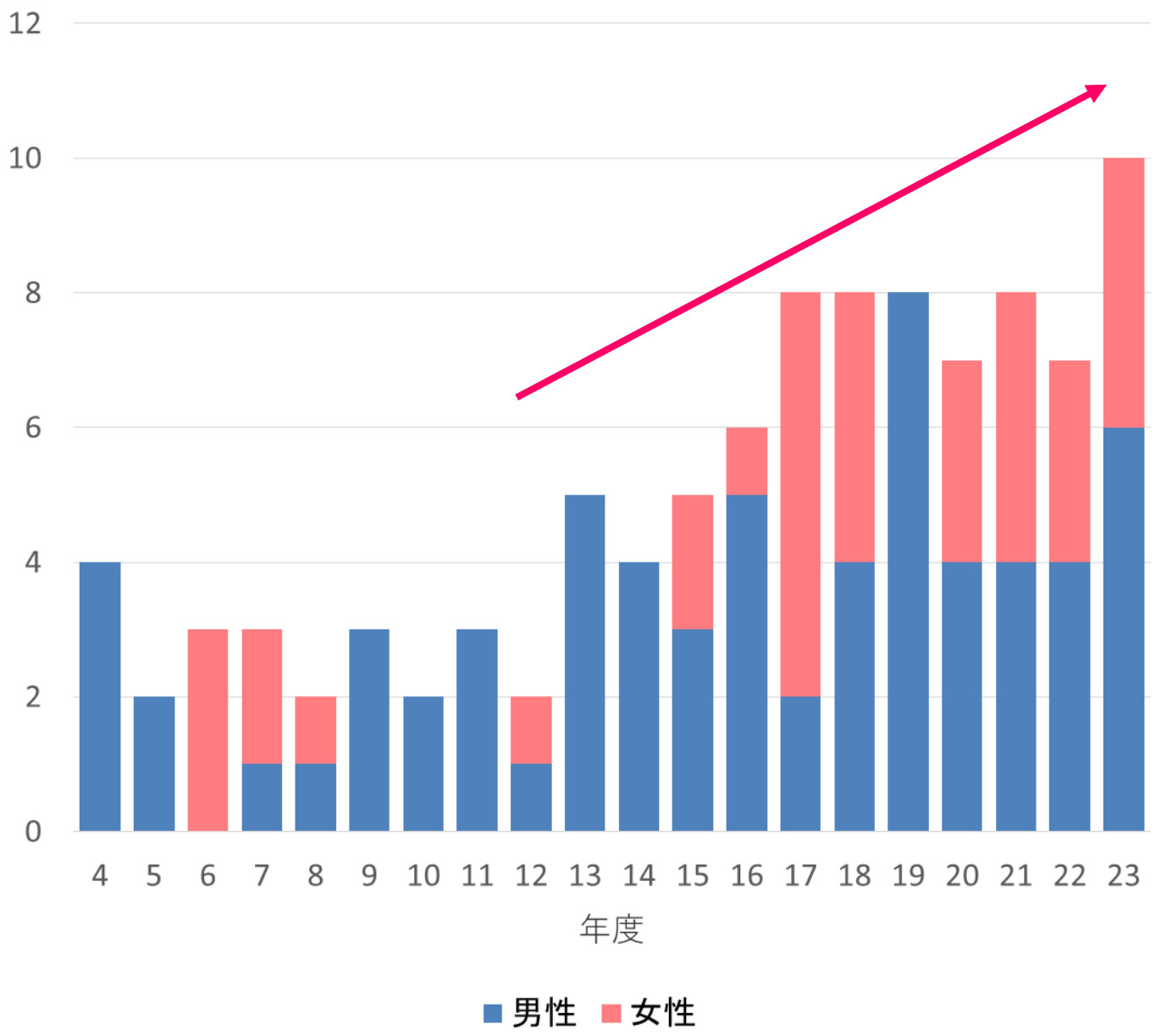
▸困っていること，悩んでいる事は気軽に相談

- メンターは中堅の上級医
- メンター1人が研修医3人ほどを担当
- 個別の面談,相談を中心に
- 2ヶ月に1回のペースで行う
- コロナが落ち着けば飲み会,お食事会も

研修医の相談相手

- 研修医（先輩や同期）
- 第3医局の3-5年目の若手医師
- 卒後10年程度の中堅医師（メンター）

年度毎の1年次研修医数の推移



新潟大学を中心に先輩からの口コミや臨床実習を通して徐々に増加

過去20年間

男性　66名
女性　34名

＊国家試験合格者の男女比と一致

要因は？

- 適度な忙しさ
- 優しい指導医（内科も外科も）
- 広くて新しい第3医局
（研修医/若手医師専用）

当院研修終了後の進路（過去17年間全体）

内科	36人
麻酔科	9人
外科	7人
小児科	4人
病理	4人
整形外科	3人
精神科	3人
放射線科	3人
脳神経外科	3人
産婦人科	2人
形成外科	2人
救急科	2人
耳鼻咽喉科	2人
皮膚科	1人
眼科	1人
検査診断	1人

泌尿器科、リハビリテーション科、総合診療：0人

循環器内科	7人
呼吸器内科	7人
腎膠原病内科	7人
消化器内科	6人
内分泌内科	4人
血液内科	3人
脳神経内科	2人

呼吸器外科	3人
心臓血管外科	2人
消化器外科	1人
小児外科	1人

計83名

- ほぼ満遍なく各科を選択
- 内科/麻酔科/病理が人気

＊専門医機構データとの比較

研修後の専門科を決めていない方にもお薦めのプログラムです！

専門研修プログラム（当院基幹型）

- 内科
- 麻酔科
- 総合診療
- 外科

令和5年1月に受検

基本的臨床能力評価試験（全国テスト）

全国　10位　/　475施設

＊研修医15名の平均点

＊特に内科と救急で好成績（当院の強みを反映）

指導医も皆、大変喜んでいます！

新潟県立中央病院からのメッセージ

当院臨床研修Twitter

- 大学から遠く離れた3次救急/広域基幹病院です。
- 各科とも最後の砦という覚悟をもって、働いています。
- 各科間の垣根は低く、穏かな雰囲気がある病院です。
- 適度な忙しさで、緊迫感の中にも安心感のある研修環境を提供します。
- 様々な人に「丁度よい研修」プログラムです。

見学や臨床実習で当院の雰囲気を感じて下さい。
お待ちしております！